



YAMAHA

トロンボーン

取扱説明書

Trombone

Owner's Manual

Posaune

Benutzerhandbuch

Trombone

Mode d'emploi

Trombón

Manual de instrucciones

Trombone

Manual de instruções

长号

使用说明书

Тромбон

Руководство пользователя

트롬본

사용설명서

長號

使用說明書

日本語

English

Deutsch

Français

Español

Português

简体中文

Русский

한국어

繁體中文

このたびは、ヤマハ管楽器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
楽器を正しく組み立て性能をフルに発揮させるため、また永く良い状態で楽器をお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

P.3

You are now the owner of a high quality musical instrument. Thank you for choosing Yamaha.
For instructions on the proper assembly of the instrument, and how to keep the instrument in optimum condition for as long as possible, we urge you to read this Owner's Manual thoroughly.

P.3

Sie sind nun der stolze Besitzer eines hochwertigen Musikinstruments. Vielen Dank, dass Sie sich für ein Instrument der Marke Yamaha entschieden haben. Um mit den Handgriffen zum Zusammensetzen und Zerlegen des Instruments vertraut zu werden und dieses über Jahre hinweg in optimalem Zustand halten zu können, raten wir Ihnen, diese Anleitung aufmerksam durchzulesen.

P.3

Vous êtes dès à présent le propriétaire d'un instrument de musique de haute qualité.
Nous vous remercions d'avoir choisi Yamaha. En ce qui concerne les instructions relatives à un assemblage adéquat de l'instrument et sur la façon de garder l'instrument dans des conditions optimales aussi longtemps que possible, nous vous conseillons vivement de lire entièrement le présent Mode d'emploi.

P.3

Usted es ahora propietario de un instrumento musical de alta calidad. Le agradecemos su elección de un instrumento Yamaha. Le aconsejamos que lea todo este manual de instrucciones para ver las instrucciones para el montaje correcto del instrumento y para aprender a conservar el instrumento en óptimas condiciones durante tanto tiempo como sea posible.

P.3

Agora você é o proprietário de um instrumento musical de alta qualidade. Obrigado por escolher a marca Yamaha. Aconselhamos que leia cuidadosamente todo o manual do proprietário para ver as instruções de montagem adequada do instrumento, bem como manter em ótimas condições de uso pelo máximo de tempo possível.

P.3

现在您已经是高品质乐器的主人了！在此，我们衷心感谢您选择雅马哈乐器，同时也恳请您完整阅读该使用说明书，从而可以充分了解有关乐器正确组装及如何使您的乐器尽可能长久地处于最佳状况的使用说明。

P.3

Вы стали обладателем высококачественного музыкального инструмента. Благодарим Вас за выбор продукции Yamaha. Для получения инструкций по правильной сборке данного инструмента и его длительном хранении в оптимальных условиях мы настоятельно рекомендуем Вам внимательно прочитать настоящее руководство.

P.3

야마하 악기를 구입해 주셔서 감사합니다. 악기의 알맞은 조립 방법 및 보관을 위해 본 사용설명서를 반드시 읽어주시기 바랍니다.

P.3

您現在擁有高品質的樂器。感謝您選擇 Yamaha。
我們強烈建議您完整閱讀本使用說明書，以便了解如何正確組裝樂器，並且使樂器盡可能長時間保持在最佳狀態。

P.3

トロンボーン

取扱説明書

安全上のご注意 ご使用の前に必ずお読みください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様への危害や損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

△：「ご注意ください」という注意喚起を示します。 ○：「～しないでください」という禁止行為を示します。



△ 注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

△ 楽器を人に向かって投げたり、振り回したりしないでください。

マウスピースや部品が抜け、相手の身体に当たるなどして危険です。楽器はいつもやさしく扱ってください。

△ オイルやボリッシュ類を乳幼児が口にしないよう、十分ご注意ください。

乳幼児の手の届かない所に保管したり、楽器のお手入れは乳幼児のいない所で行なうなど、オイルやボリッシュ類の管理にはご注意ください。

△ 温度・湿度などの環境に注意してください。

楽器をストーブなどの火気につづけないでください。また、温度・湿度の異常な環境でのご使用や保管も避けてください。演奏に支障を生じるおそれがあります。

○ ラッカー仕上げの製品のお手入れには、ベンジンやシンナーは使用しないでください。

表面の仕上げを損なう場合があります。

△ 変形をご注意ください。

不安定な場所に置いた場合、落下や転倒により変形するおそれがあります。置き場所には十分注意してください。

○ 改造しないでください。

保証の対象外となるばかりでなく、修理ができないことがあります。

○ 小さな部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

お子様が誤って飲み込むおそれがあります。

メック仕上げの管楽器は、メックの性質上、時間が経過すると表面が変色する場合がありますが、演奏には何ら支障はありません。なお、初期の変色部分はお手入れによって簡単にきれいになります。(変色の進行したものは、きれいにならない場合があります。)

※ お手入れ用品は、それぞれのメックの種類に合った専用のものをお使いください。またボリッシュは表面を磨き取るものですので、メックが薄くなることがあります。あらかじめご了承ください。

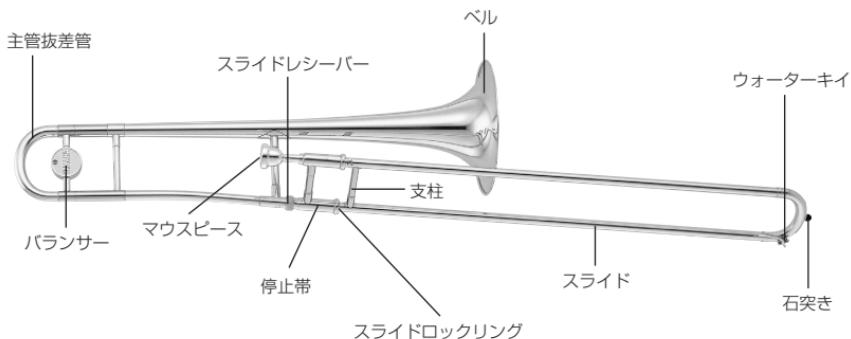
■ 長くお使いいただくために

楽器を良いコンディションで長くお使いいただくために、以下の事項を心掛けてください。

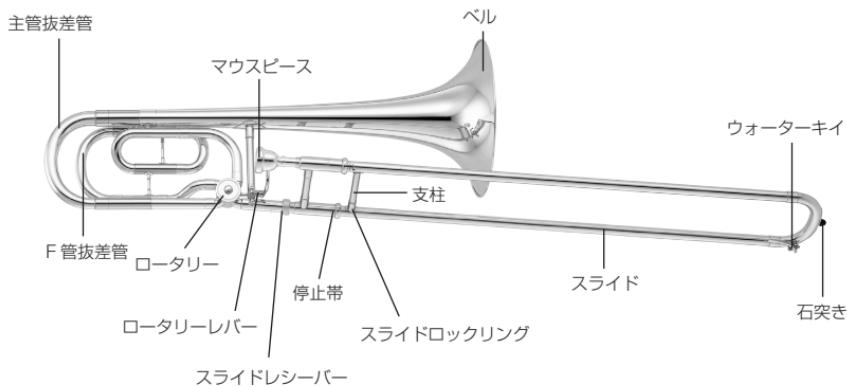
- オイルやグリスが切れないよう、演奏前に確認しましょう。
- 他社のオイルを使用すると、含有成分によっては変色やさびが発生する場合がありますので、ご注意ください。
- 演奏後は抜差管やウォーターキイから水分を抜きましょう。
- 定期的に楽器の点検・お手入れをしましょう。
- 保証期間中、保証書は大切に保管しておきましょう。

各部の名称

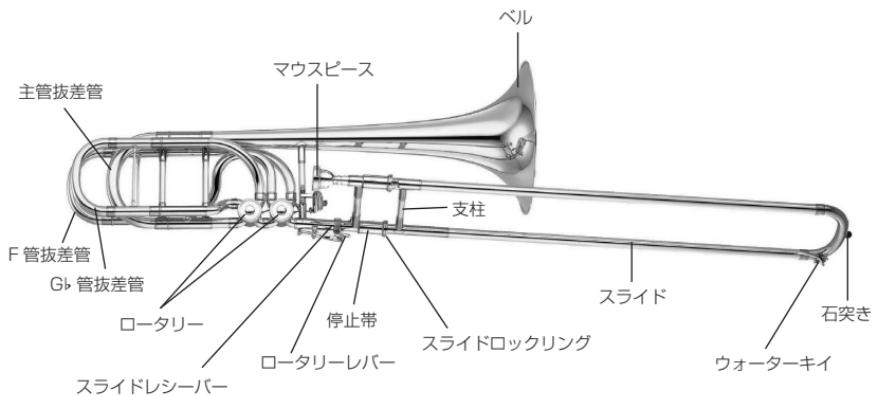
■ テナートロンボーン



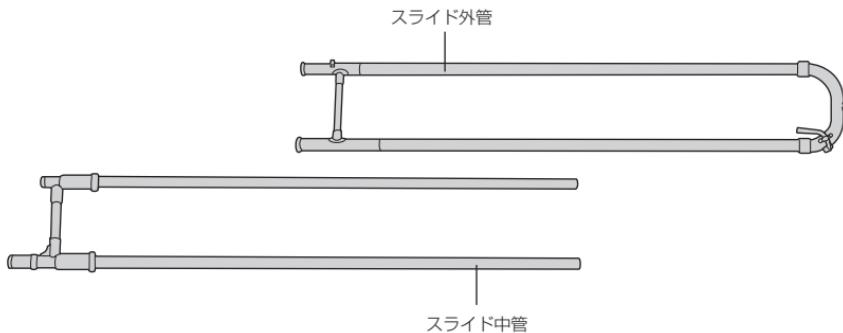
■ テナーバストロンボーン



■ バストロンボーン



■ スライド



※ 仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがあります。

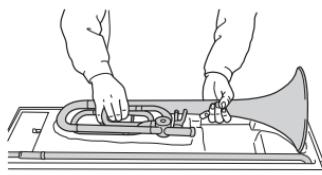
演奏の準備

楽器の取り扱いについて

トロンボーンのボディの板厚はとても薄いので、取り扱いの際に無理な力を加えたり、ぶつけたりして変形させないように、十分注意してください。

■ 楽器をケースから取り出す

1. 管体を両手で持ち、ゆっくりとケースから取り出します。

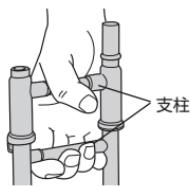


* 主管だけを持ち上げると、ベルが傷つくおそれがありますので、ベルと主管両方を持ちながら取り出してください。

2. スライドをケースから取り出すときも、必ず両手で持ちスライドが動かないように支柱に指をかけて、ゆっくり取り出してください。

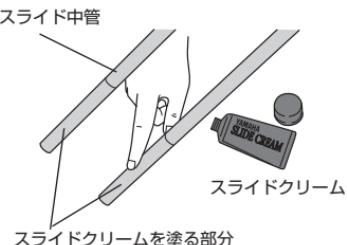


* スライドを持つときは、必ず両手で持ってください。片手で持ち上げると、スライドが曲がるおそれがあります。
* スライドだけを持ち歩くときは、落下防止のため 2 本の支柱に指をしっかりと掛け持ち歩きます。

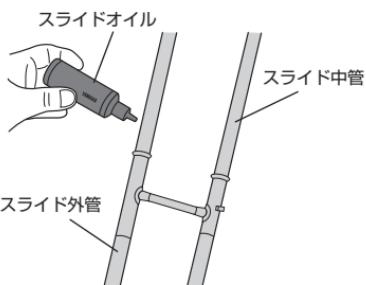


■ スライドの準備

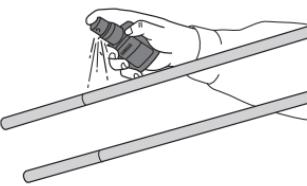
1. スライド中管の汚れを拭き取り、先端の少し太い部分にスライドクリームを極少量、またはスライドオイルを塗ってください。



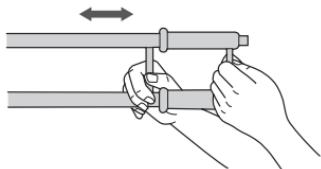
* スライドグリスは使用しないでください。



2. (スライドクリームを塗る場合のみ)
スライドクリームを塗った後、ウォータースプレーで十分に水を吹きつけます。



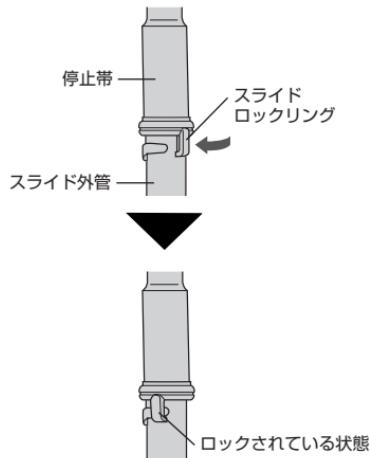
3. スライド外管と中管をセットし、内部のクリームまたはオイルをなじませるために、何回かスライドさせます。



- * スライドクリームの量により、スライドの動きが変わりますので、スムーズに動く量を覚えましょう。
- * 演奏中にスライドの動きが悪くなったら、ウォータースプレーで水を吹きつけてください。

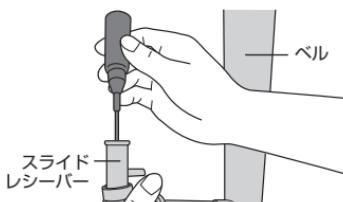
スライド外管落下防止の注意

スライドは、外管と中管で構成されています。組立て時などに誤って外管を落させないよう、スライドロックリングが確実に閉まっているかを確認しましょう。



■ ロータリーへの注油

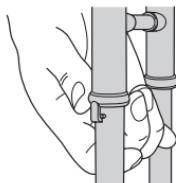
テナーバストロンボーン、バストロンボーンは、スライドレシーバー側からロータリーへ直接ローター油を注油してください。



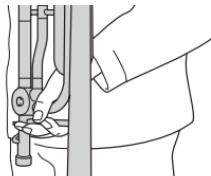
- * スライドレシーバーの内面にローター油が付着すると、汚れやごみがロータリーに入り動きが悪くなる原因になりますので、ご注意ください。

■ 楽器の組み立て

1. スライドロックリングが閉まっていることを確認してから、支柱をしっかりと持ち、石突きを床に着けます。

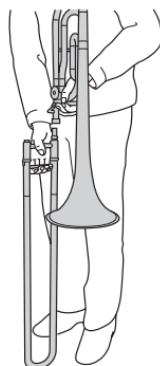


2. もう片方の手で、ベル側本体をしっかりと持ちます。

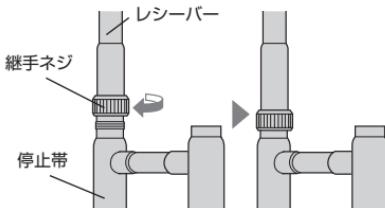


* 本体は必ずスライドレシーバー付近を持ってください。主管抜差管の辺りを持つと、主管抜差管が抜け落ちたり、ぶら付いて楽器をぶつけるおそれがあります。

3. 本体とスライドをジョイントします。ジョイントする角度は、演奏しやすい角度に取り付けてください。



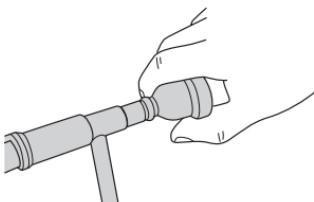
4. ジョイントが終わったら継手ネジを締めて固定します。



* 組み立てが終わったら後も、楽器を持つときは、必ず支柱を持つように心掛けてください。また、ぶつけたりひねったりしないよう取り扱いには充分にご注意ください。

■ マウスピースのセット

マウスピースは軽くガタ付きがなくなる程度まで差し込みます。

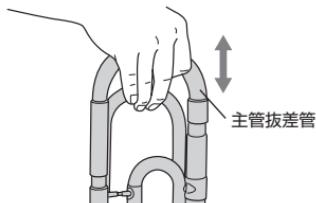


* マウスピースは絶対に強く押し込んだりしないでください。マウスピースが抜けなくなるおそれがあります。

■ チューニングのしかた

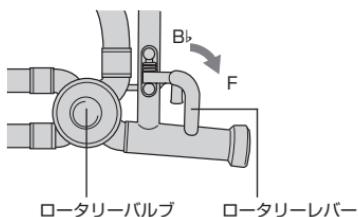
チューニングは、主管抜差管をスライドさせて行ないます。チューニングは気温に影響されますので、演奏の前に息を吹き込んで楽器を暖めてからチューニングをしてください。

ピッチは主管抜差管を抜く長さで調節します。



ロータリーバルブについて

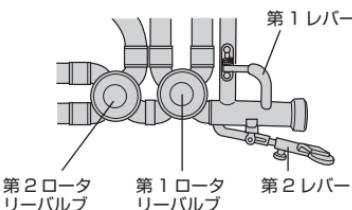
シングルロータリーバルブの場合は、レバーを動かすと、B♭調からF調に変調します。



音のエチケット

美しい演奏は人にさわやかな感じを与えますが、練習中の音は時には気になる人もいらっしゃいます。ご近所の迷惑にならないように気を配りましょう。

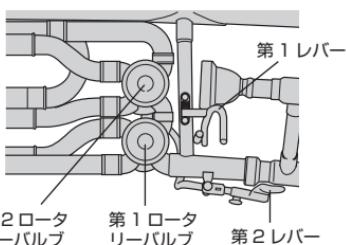
インライン・ダブルロータリーバルブの場合
B♭-F、B♭-G♭、B♭-Dに、レバーの動きで変化します。



第1レバー	第2レバー	調子
X	X	B♭
O	X	F
X	O	G♭
O	O	D

O.....レバーを押したとき
X.....レバーを押さないとき

オフセット・ダブルロータリーバルブの場合



第1レバー	第2レバー	調子	D替管使用時
X	X	B♭	B♭
O	X	F	F
X	O	(B♭)	(B♭)
O	O	E♭	D

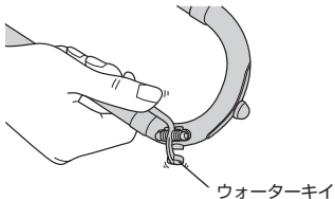
O.....レバーを押したとき
X.....レバーを押さないとき

■ 演奏後のお手入れ

演奏後は、必ず以下の手順で楽器内部に付いた水分や汚れを拭き取りましょう。

● スライドのお手入れ

1. ウォーターキイから管体内の水分を出します。

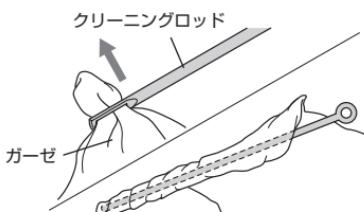


* スライド外管は耐食性に優れた素材を使用していますが、水分が長時間管内に残留すると、腐食が進行するおそれがありますのでご注意ください。

2. スライド中管表面に付いているスライドクリームと水分をガーゼで拭き取ります。



3. 金属部分が露出しないように、ガーゼをクリーニングロッドに巻き付けます。



* 金属部分が露出していると、管内に傷が付くおそれがあります。

4. スライドの内側を掃除します。

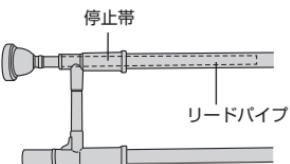


* ガーゼがクリーニングロッドから外れないように、しっかりと持ってください。

* 掃除中はイラストのようにスライドの支柱を持つようにしましょう。

清掃時の注意

停止帯内側にはリードパイプが入っていますので、ガーゼをつまらせないようご注意ください。



● 楽器表面のお手入れ

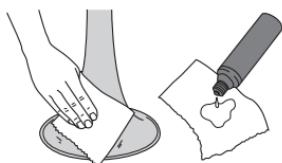
楽器の表面はポリシングクロスで軽く拭きます。汚れや変色が目立つ場合は、下記のお手入れ用品をお使いください。

ラッカーアップには ...

ラッカーコロスまたはラッカーポリッシュ

銀メッキ仕上げには ...

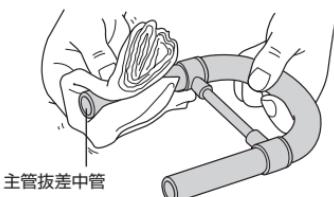
シルバーコロスまたはシルバーポリッシュ



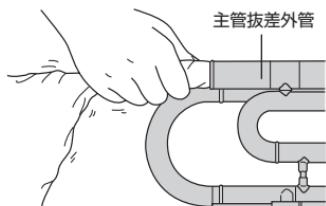
■ 月に1～2回のお手入れ

● 抜差管のお手入れ

1. 抜差中管表面の汚れをガーゼで拭きます。

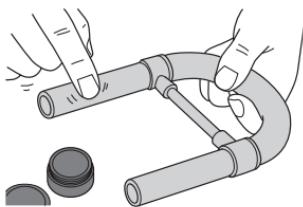


2. クリーニングロッドにガーゼを巻き付け、
抜差中管、外管内側の汚れを取ります。



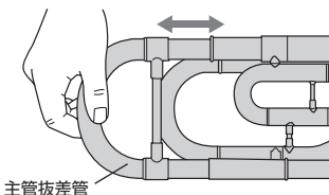
* ガーゼがクリーニングロッドから外れないように、しっかりと持ってください。

3. 抜差中管の表面にスライドグリスを少量塗ります。



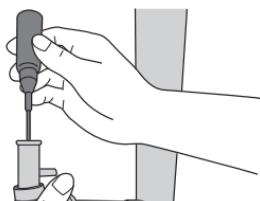
* スライドグリスは抜差管専用ですので、スライドには塗らないでください。

4. グリスが全体に行き渡るように、抜差管を何回かスライドさせます。

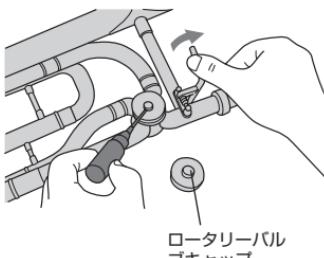


● ロータリーのお手入れ

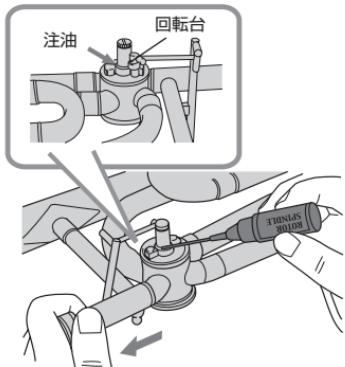
1. スライドレシーバー側から、ロータリーオイルを注油します。



2. ロータリーバルブのキャップを外し、ロータリー中央と軸を支えている所に、ロータースピンドルオイルを少量注油します。

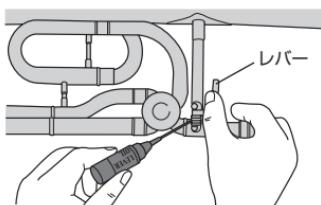


3. ロータリー回転軸と軸受けにもロータースピンドルオイルを少量注油します。オイルを付け終わったら、キャップを締めてオイルが馴染むようにレバーを数回動かします。



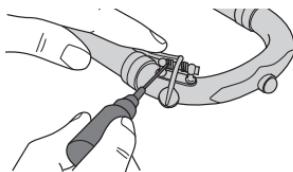
* ロータリーは精密に作られています。むやみに分解すると故障の原因になります。

4. レバー支持台の軸受部にレバーオイルを注油します。

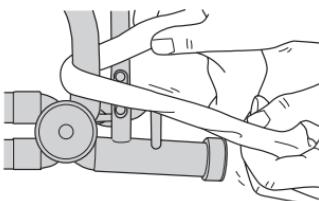


ウォーターキイ部分への注油

ウォーターキイ部分への注油を怠ると、動きがにぶくなるおそれがあります。

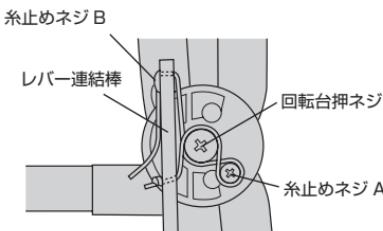


細かいところは、細いガーゼで念入りにお掃除します。



● ロータリー糸の結びかた

図のように糸を巻き上げ、糸止めネジを締めます。巻き終わったら、糸止めネジ A でレバーの位置を調節します。

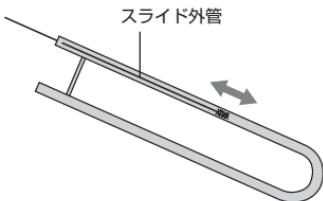


■ 半年に1回のお手入れ

● 楽器を洗浄しましょう

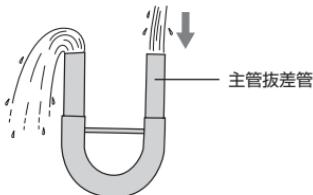
1. プラスソープ水溶液を作ります。
プラスソープ「1」に対して、30℃～40℃の温水を「10～15」用意します。楽器をプラスソープ水溶液内へ入れるときは、抜差部分とスライド部分を抜いてから洗浄してください。
* ロータリー部分を洗浄したいときは、お買い上げ店、またはご相談窓口へご相談ください。

2. プラスソープ水溶液を含ませたフレキシブルクリーナーで管内を洗います。



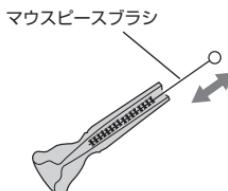
* スライド中管内側は、クリーニングロッドにガーゼを巻き付けてご使用ください。

3. 洗い終わったら、きれいな水でプラスソープ水溶液を充分に洗い流してください。その後、抜差管にスライドグリスを塗って組み立てます。

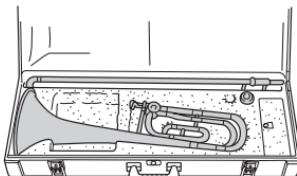


● マウスピースを洗浄しましょう

マウスピースは、マウスピースブラシにプラスソープ水溶液を含ませ、スロートに通して洗い、きれいな水で洗い流してください。



演奏が終わったら、必ずケースに入れて保管してください。また、運搬の時もケースに入れて運んでください。

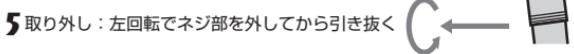
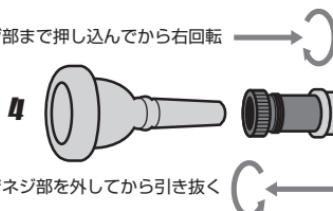
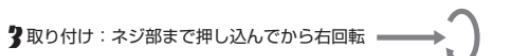
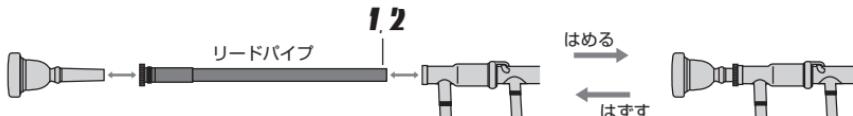




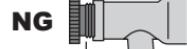
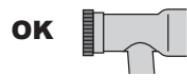
リードパイプの着脱方法

リードパイプ着脱式の製品は、下の図のように取り外しが可能です。

1. リードパイプの先端は肉厚が薄いので、着脱の際にはダメージを与えないようご注意ください。
2. リードパイプの先端に、少量のスライドグリスをつけると、よりスムーズに着脱できます。
3. 取り付け時は、時計回り（右回転）。
4. マウスピースを差し込むとつかみやすく、着脱が容易です。
5. 取り外し時は、反時計回転（左回転）。



* リードパイプは締め切った状態で使用してください。



ネジ部が見えた状態



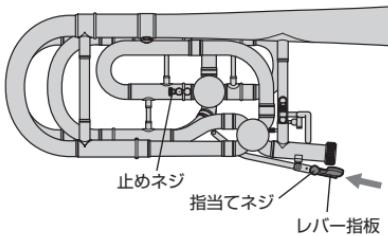
拔差管の交換方法

■ 第二バルブセクションの取り外し (YBL822G)

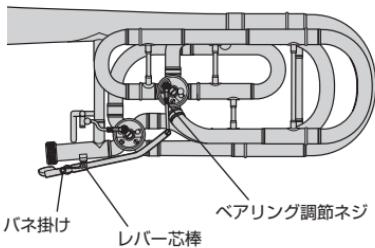
バストロンボーン YBL822G は、第二バルブセクションを取り外すことで、シングルロータリーのバストロンボーンとして使用 (B♭/F/D♭ → B♭/F) することができます。

以下の手順に従って、慎重に第二バルブセクションを取り外し、F 管抜差管を取り付けてください。第二バルブセクションの取り付けは逆の手順です。その際、ベアリング調節ネジが緩んでいないか確認し、必要に応じてネジを締め付けてください。

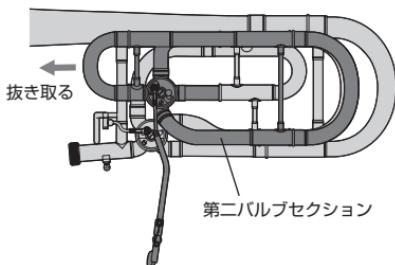
1. 第二バルブセクションの止めねじを外します。次に指当てねじを緩め、レバー指板を奥までいっぱいに入れた後、指当てねじを締めてレバー指板を固定します。



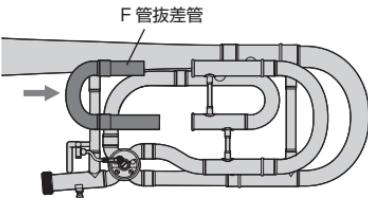
2. バネの端をバネ掛けに掛けます。次にレバー芯棒を緩めて抜き取ります。



3. 管体に当たないように注意しながら、第二バルブセクションを慎重に抜き取ります。



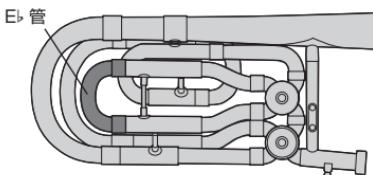
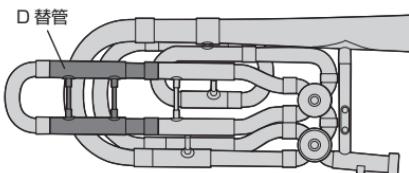
4. 同梱されている F 管抜差管を、挿入する向きに注意して本体に装着します。



■ D 替管の抜き取り (YBL620G)

バストロンボーン YBL620G は、D 替管を抜き取ることで、B♭/F/D から B♭/F/E♭ のバストロンボーンとすることができます。

D 替管を抜き取り、E♭ 管だけの状態にして楽器本体に差し込みます。





故障かな？と思ったら

音抜け、音程が悪くなった。

- ・ 管内に汚れが多量に付着している。
→ 管内を洗浄してください。
- ・ 管に大きなへこみがあり、管の継ぎ目から息が漏れている。
- ・ マウスピースがガタつき、その部分から息が漏れている。
- ・ ローターとバルブケーシングの穴が合っていない。
→ お買い上げ店、またはご相談窓口にご相談ください。

スライドの動きが悪くなった。

- ・ スライド外管と中管の間に汚れが溜まっている。
→ スライド内を洗浄してください。
- ・ スライドを曲げてしまった。
- ・ スライドにへこみがある。
→ スライドが変形していたり、傷がついているときは絶対に使用せず、お買い上げ店、またはご相談窓口にご相談ください。

抜差管が抜けない。動きが悪い。

- ・ 抜差管と管体の間に汚れや砂ぼこりが入って傷が付いた。
→ 汚れをよく拭き取り、抜差管の種類に合わせてスライドグリスを塗る。
- ・ 楽器を落としたりぶつけたりして抜差管がへこんだり、掃除の時に曲がった。
→ お買い上げ店、またはご相談窓口にご相談ください。

ネジが固くて外れない。

- ・ ネジがさびてしまった。
- ・ ネジの部分をぶつけて変形させた。
→ お買い上げ店、またはご相談窓口にご相談ください。

ローターの動きが悪くなった。

- ・ バルブケーシングとローターの間が汚れている。
- ・ ロータリーレバー連結棒が曲がっている。
→ お買い上げ店、またはご相談窓口にご相談ください。
- ・ ひもが緩んでいる。
→ ひもを掛け直してください。

マウスピースが抜けない。

- ・ マウスピースを楽器に付けたまま落としたり、ぶつけたりした。または、強くはめ込んだ。
- ・ マウスピースを楽器に付けたまま、長時間放置した。
→ お買い上げ店、またはご相談窓口にご相談ください。

吹いていると変な音がする。

- ・ 楽器のハンダが外れている、または管内に異物が入っている。
→ お買い上げ店、またはご相談窓口にご相談ください。

レバーを押すと、力チャカ力チャ音がする。

- ・ レバーが管体に当たっている。
→ ひもを掛け直して、レバーの位置を調整してください。
- ・ どこかのネジが緩んでいる。
→ ネジをしっかりと締めてください。
- ・ ローターとケーシングにガタがある。
→ お買い上げ店、またはご相談窓口にご相談ください。



お手入れ用品とアクセサリー

素敵なミュージックライフのために、ヤマハでは、いろいろなアクセサリーを取り扱いいたします。ここではトロンボーンに関するものをお紹介いたします。ぜひ、ご活用ください。

品名	特徴・使用方法
プラスソープ	管体の内側やマウスピース内側のクリーニングに最適です。
メタルポリッシュ	素地材質のままの仕上げや、ニッケルメッキ仕上げの楽器表面の変色や汚れを取るときに使用します。
ラッカーポリッシュ	ラッカーワーク専用のポリッシュで、楽器表面の汚れを取り除き、艶のある光沢を生み出します。
シルバーポリッシュ	銀あるいは銀メッキ仕上げの楽器表面の変色や汚れを取る時に使用します。
ポリシングガーゼ (S)(L)	楽器表面や内側のクリーニングに最適です。
ポリシングクロス (M)(L)(LL)	楽器表面の艶出しに適した、柔らかくきめ細かいクロスです。
クリーニングロッド (SL用)	スチールにクロームメッキした丈夫なクリーニングロッド。ガーゼを巻きつけて使用します。
マウスピースブラシ (L)	マウスピースのクリーニングに使用します。
フレキシブルクリーナー (SL用)	自由自在に曲がりますので、曲管部分の内面のクリーニングに最適です。
スライドグリス	抜差管の気密を保ち、さびや摩耗を防ぎます。
レバーオイル	レバーの動きをスムーズにし、ノイズの発生、バネ軸部分のさび、摩耗を防ぎます。
ロータースピンドルオイル	ローター軸に動きをスムーズにし、ノイズの発生、さび、摩耗を防ぎます。
ローター油	ローターの動きをスムーズにします。
ウォータースプレー	きれいな水を入れ、ボタンを押してスプレーします。容器を逆さにしても使用できます。
スライドオイル	スライド中管に使用し、優れた機密性とスムーズで滑らかなスライドの動きが得られます。
スライドクリーム	軽快なタッチが得られ、気密を保ち、摩耗を防ぎます。
シルバーコロス (M)(L)	銀や銀メッキの楽器表面の変色や汚れを取り、きめ細かな美しい光沢をもたらします。
ラッカーコロス	ラッカーワークの楽器表面の汚れを取り、きめ細やかな美しい光沢をもたらします。
クリーニングスワブ (TB)(EP)	管体内面の水分や汚れを除去し、豊かな響きを維持します。
マウスピーススワブ (M)(L)	マウスピース内面の水分や汚れを除去します。

お手入れ用品は、各々の用途目的に添って正しくお使いください。



ポジション表 / Position Chart / Positionstabelle / Tableau des Cuadro de posiciones / Tabela de posições / 把位图 / аблъца

- ★ () は替えポジションです。
- ★ テナーバスのレバー (L) を押すと、F 管になります。
- ★ Positions in parenthesis () denote alternate positions.
- ★ Changes to F when the lever (L) on a tenor bass trombone is pressed
- ★ Alternative Positionen stehen in Klammern ().
- ★ Ändert sich bei einer Tenorbassposaune beim Drücken des Hebels (L) in F.

- ★ Les positions entre parenthèse () dénote les position alternatives.
- ★ Passe en Fa quand la palette (L) du trombone ténor complet est actionnée
- ★ Las posiciones entre paréntesis () indican posiciones alternativas.
- ★ Cambia a F cuando se presiona la palanca (L) de un trombón tenor bajo.

■ テナートロンボーン / Tenor Trombone / Tenorposaune / Trombone ténor / Trombón tenor / Trombone Tenor / 次中音长号 / Теноровый тромбон / 테너 트롬본 / 次中音長號



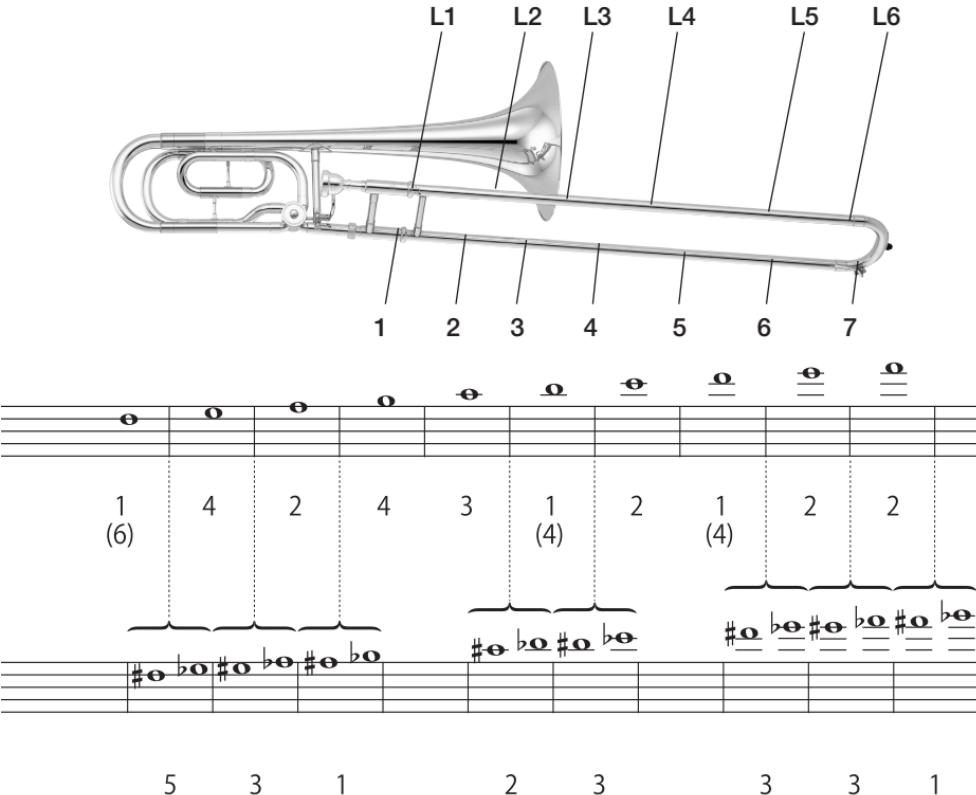
The chart shows a scale on two staves. The top staff is in B-flat major (two flats) and the bottom staff is in F major (one sharp). Fingerings are indicated by numbers (1, 2, 3, 4, 5, 6, 7) and slide positions by L1, L2, L4, L6. The slide positions are: L6 (1), L4 (5), L2 (3), L1 (1), L2 (5), L1 (3).

Slide Position	Fingering										
L6	1	L4	5	L2	3	L1	1	L2	5	L1	3
	1		5		3		1		5		3

positions /
позиций / 포지션 차트 / 位置圖

- ★ As posições entre parêntesis () indicam posições alternativas.
 - ★ Altera para F quando pressionado a haste do rotor (L) em um trombone tenor baixo.
 - ★ 括号 () 中的为交替把位
 - ★ 按下次中低音长号上的连杆时，音调变为 F 调
 - ★ Позиции в круглых скобках () являются дополнительными.
 - ★ Страй F при нажатом квартетвиле (L).
 - ★ 괄호 () 안의 위치는 대체 위치입니다.
 - ★ 테너 베이스 트롬본의 레버 (L)를 누르면 F로 바뀝니다.
 - ★ 括號內的位置表示備用位置。
 - ★ 按下次中低音長號的連桿之後，會變成 F 調。

- テナーバストロンボーン / Tenor Bass Trombone / Tenorbassposaune / Trombone ténor complet / Trombón tenor bajo / Trombone Tenor Baixo / 次中低音长号 / Теноровый бас-тромбон / 테너 베이스 트롬본 / 次中低音長號





ヤマハ株式会社
〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1
Manual Development Group
© 2021 Yamaha Corporation
Published 08/2021
2021年8月发行 POCP-B0

VDE1670